

令和8年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立中野東小学校（外10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立中野東小学校	http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができ

るグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

【実施の効果】

- 1・2年生において英語を導入した特別教育課程を実施した結果、以下の効果があった。
- ・簡単な挨拶表現（Hello. やHow are you? I'm happy. など）や基本的な英単語（sunny やrainy など）が身に付いている。
- ・英語の動画を視聴し、身振りを交えながら英語を使うことで、日常生活の中でも知っている英語の表現を使う児童が見られた。
- ・ALT が話す簡単な言葉やチャンツを繰り返し聞くことで、英語の発音やリズムに興味をもつ児童が増えた。
- ・3、4年生の外国語活動では、ALT と一緒にTPR や英語の歌、チャンツなどの活動を行うことで、児童が進んで英語を話す姿が見られるようになった。
- ・外国語活動を通じて、外国の言語や文化などに興味をもつ児童が増えた。
- ・5、6年生の外国語科では、同一中学校区交流事業の一環として、自分たちが紹介したいものを英語で発表する活動を行った。児童同士での発表ではあったが、英語を抵抗なく話そうとする様子が見られた。

【手立て】

- ・様々な言葉や動画をモニターに映すことで、言葉と物の結びつきを視覚的に理解させた。
- ・簡単な英語の歌を映像を見ながら歌うことで、楽しく英語の音に慣れ親しんだ。
- ・インタビューゲームやSmall Talk など様々な活動を行うことで、積極的に英語を使う機会を増やした。
- ・振り返りカードを使うことで、教師が適切なフィードバックを行うことができた。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・Small Talk の活動では、日常的に既習表現を用いる時間を確保し、繰り返し行うことで慣れ親しむようにする。
- ・英語を書き写す活動では、ただ書き写すのではなく、音声で十分に慣れ親しんでから書き写すようにする。教師と一緒に読んだり、指でなぞったりすることで、正しく書けるようにサポートしていく。
- ・児童が意欲的に外国語活動や外国語科の授業に取り組めるよう、ALT と十分に打ち合わせを行い、ゲームやペア活動、発表など、児童が楽しく英語を学べる手立てを考える。